

考動・躍動・感動

各教科の先生方からのアドバイス

初めての期末テスト、勉強方法・勉強の進め方で戸惑った人も多かったと思います。各教科の先生方からのアドバイスを下に載せました。

○授業を大切にしよう！

○重要語句・基本用語を覚えよう！

など、基本の部分は共通しています。しっかり読んで、次に生かしましょう。

国語・加藤洋佑先生より

漢字の力をつけましょう。誰でも、必ずできるようになります。コツコツとやるためには、毎週の小テストで満点を目指して勉強するのが一番良いです。毎週行っているのので、その度に習った漢字を復習していきましょう。漢字の力は一生必要な力です。中学校1年生の今なら、十分間に合います。小学校で習った漢字は「人」とか「本」などとても簡単な物も含めて1006字程度です。苦手な生徒はこの夏休みに復習しておく、秋からとても楽になりますよ。



テストの答え方にも、そろそろ慣れてきたかと思えます。「書き抜きなさい」などの指定も多いです。次のテストでは何を聞かれているのかを考え、文末表現なども含めた「答え方」を意識して取り組みましょう。

家庭科・諏訪早織先生より

初めての家庭科のテストだったので、どのように勉強していいのかわからなかった人はいませんか。一番は授業をしっかりと聞くこと、テスト前にはまずプリントを見て復習することが大切です。また漢字の間違いや、漢字を覚えていなくて×になってしまった人が多くいました。語句をしっかりと覚えておきましょう。

社会・水野千広先生より

マークシートの問題は、2回目のテストということもあってか、よくできていたと思います。試験中に各教室を回った際も、問題用紙に答えを書き記してある人も前より多くなったと感じました。自分がテスト中にどう考えたのか分かる跡をつけることは、今後も続けてほしいです。



記述問題は、授業の時に“難しい”“間違えやすい”と声かけをしたり、黒板に大きく書いてあったりするはずですが。何が大事なのかをアンテナを立てて、授業に臨むようにしましょう。自分にプラスになる情報がいっぱいです。

理科・森川紗織先生より

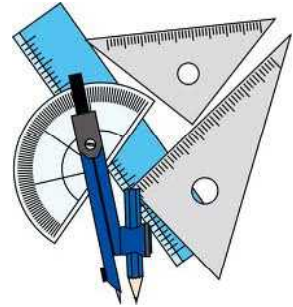
今回のテストの結果から3つアドバイスをします。一つ目、教科書の重要語句(太字の語句)は正確に覚えましょう。漢字で正しく書けるようにすることはもちろん、図や写真等と合わせて覚えるようにしましょう。二つ目、記述問題はポイントになる言葉を入れよう。あいまいな答えでは正解に結びつきません。問題のポイントを見極めて簡潔に書きましょう。三つ目、教科書やプリントの問題は何度も解きましょう。教科書やプリントと同じ問題でも間違えている人が多くいました。教科書やプリントの問題は基本です。必ず解けるようにしておきましょう。

英語・金原はるみ先生より

中間テストに比べると、文を書く問題が一気に増えました。きちんと書けている人も多かった中、おいしいミスが目立つ人や、なかなか正しく書けない人もいました。ワークにきちんと取り組みましたか。普段から復習ノートに書く練習をしていましたか。書き取りテストで書けるよう準備していましたか。教科書を読んだり暗唱したりするのはみんな頑張っているの、書く力をつけていきましょう。be動詞の文と一般動詞の文の違いは、「基本のキ」でとても大切です。その違いを理解できるよう、今後も引き続き頑張りましょう。東中生の合い言葉、英語を書いて覚えよう！

数学・川口輝正先生より

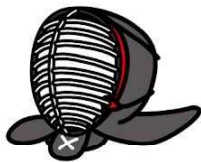
中間テストとくらべると、できなかったと感じる人が多くなったかもしれません。今回のテストをしっかりと復習をして、1学期までのことでわからないところを2学期までに限りなくゼロにできるようにしましょう。また、文字式の表し方が曖昧なままテストに臨んだ人がいるようです。まずは毎日授業をしっかりと聞いて、できるようになるまで練習をしましょう。あとは、計画的に勉強をして、わからないところは早めに先生に質問をして解決をした状態でテストに臨もう。



保健体育・寺田泰次郎より

保健分野の出題内容としては、基本的な内容・用語の確認がほとんどだったので、しっかりと勉強していた人は、正答率もよかったと思います。実技分野については、ノート・学習カードだけでなく、図説でも確認しておきましょう。

今回は、初めての保健体育のテストということで、勉強方法に戸惑った人もいたかと思います。しっかりと知識として覚えておくことと同時に、生活の中でも役立たせていくことが大切です。



技術・横山誠先生より

小学校にはない教科「技術」の授業を受けて数ヶ月が経ちました。初めての教科のテストということもあり、よく勉強し、パソコン・情報のことが理解できていると感じました。



【保護者の皆さんへ】

先日配布させて頂きました、「7月分集金のお知らせ」の内訳で、『修学旅行積立金3000円』という項目を書かせていただきました。これから3年生の修学旅行に向けて、費用の積立を行わせていただきます。また、修学旅行の積立が終わりましたら、アルバム代の積立に変更させていただく予定をしています。なお、会計報告につきましては、3年生の時にお知らせします。

今回は連絡・説明が遅くなってしまい、ご迷惑をおかけしました。どうかご理解いただきたいと思っております。今後ともよろしく申し上げます。

